

長浜ロータリークラブ



「鶏足寺の紅葉」
写真同好会 北村 隆信 君 提供

■例 会 / 毎週月曜日 12:30~13:30
 ■会 場 / 北ピコホテルグライエ
 ■創 立 / 昭和26年2月26日
 ■事務局 / 〒526-0067 長浜市港町4-17 北ピコホテルグライエ別館
 TEL (0749)63-3500 FAX 62-6618
 E-mail:n-rotary@circus.ocn.ne.jp HP:http://nagahama-rc.org/

●本日のRI財団為替交換レート \$1=¥82



「地域を育み、大陸をつなぐ」

RI会長 レイ・クリンギンスミス

(真のロータリアンをめざして)

「ロータリーを良く学び、変化を知り、忘れたことを思い出そう」 RI2650地区ガバナー 栗田 幸雄

「ロータリーの価値観を分かち合おう」 長浜ロータリークラブ会長 笹原 俊昭

第2860回例会
 2010年12月13日(月)
 12:30~

■プログラム

「東門RC訪問」報告

講師: 関谷 松男 君
 担当: 国際奉仕委員会

東門RC創立20周年を祝う訪問団に参加して



12月3日~5日、姉妹クラブ台湾台北市の東門ロータリークラブ創立20周年に、メンバー20名ご夫人11名が参加いたしました。午前6時に長浜を出発、台湾へ。お昼過ぎに桃園国際空港に到着、空港では東門

クラブのみなさんによる熱烈歓迎の出迎えを受けました。歴史の香りがする街中へ向かい、浅草の雰囲気がある龍山寺を参拝。お供えと占いの儀式が珍しい光景です。台北市の中央にあるリージェント台北ホテルへ。クリスマスの飾りも素敵なホテルです。

夜は、20周年祝賀例会が開かれ、舞鶴RCさんも合流され、320名の参加者の熱気と日台外交で会場は盛り上がり、東門RC張会長「現在私は幸せな収穫人、彼らの努力と奉仕がなければ、今日の収穫はなかったでしょう」が印象的です。笹原会長、舞鶴RC足立清治会長が祝辞を述べられ祝賀例会は心和らぐ演出で進行して行きます。東方歌舞団の昔から伝わる太鼓舞、東門RCメンバーによ



るかぶりもの人形舞踊、東門RCご夫人方の歌や踊り、東門小学校の生徒さんのリコーダー演奏と続き、長浜クラブは「曳山祭」を再現。シャギリやヨイサと扇子が会場に舞いました。舞鶴クラブさんはヨサコイを披露。高砂族の舞踊の後はメンバーご夫人全員による「花」すべての人の心に花を〜♪を合唱。「手に手をつないで」の全員熱唱で最高潮。

4日は東門RC記念事業の坪林小学校にて教育機器の贈呈式典に臨みました。生徒による迫力ある龍の踊りや柔らかな音色の陶笛演奏が素敵でした。マッチンググラントの坪林地区溪流の大切さと周辺の動植物認識・教育に関する事業の溪流を歩き、雨避けの小屋の除幕式を行い、永遠に生命の水や環境を守る心を育む、まさに国際交流共同事業の「自然の雄大さ」を体感しました。夜は圓山ホテルにて歓迎パーティーが開かれ本場の台湾料理に美味し、歌の数々が披露され親交を深めることができました。

最終日の5日は故宮博物院を見学。翡翠細工、陶器、彫金の名宝秘宝の数々を目の当りにしました。本場飲茶料理を味わい大勢の東門メンバーの歓送を受け、台北を後にしました。23時過ぎに長浜へ全員無事帰着。姉妹クラブ交流を通じ、心かなる熱い友情と絆を深められることができた、楽しい思い出の三日間でした。(川村 記)



開 会 点 鐘
 ロータリーソング
 来 客 紹 介
 食 事・(歓 談)
 会 務 報 告
 各 委 員 会 報 告
 会 長 の 時 間
 プ ロ グ ラ ム
 閉 会 点 鐘

長浜ロータリークラブ報告

社会奉仕プロジェクト「1・2のサンタ」出陣式のご案内

長浜ロータリークラブの継続事業であります社会奉仕プロジェクト「1・2のサンタ」を今年も開催させていただきます。小学生未満のお子様をお持ちのご家庭へプレゼントを届けに伺います。当クラブの看板事業でもあり、現在その準備をクラブ員みなで行っています。たくさんのご登録をクラブ員一同心よりお待ちしております。

日 時 12月24日 出陣式 17時30分~
 場 所 長浜ロータリークラブ事務局

隣接クラブプログラム

- 12月14日(火) / 長浜北RC
「ガバナー公式訪問」
- 12月16日(木) / 彦根RC
「プライダルの移り変わり」
- 12月17日(金) / 長浜東RC
「テーブルマナー講座PARTⅢ」

2010~2011年度 理事・役員

会 長(理事) 笹原 俊昭
 幹 事(理事) 柴田 正明

会 計(理事) 永井 茂雄
 前会長/S・A(理事) 辻 喜八郎
 会長エレクト(理事) 畑澤 昭男
 副 会 長(理事) 小川 彰三
 (クラブ管理運営兼任)
 クラブ広報(理事) 梅本 敏彦

クラブ会員増強(理事) 北村 隆信
 奉仕プロジェクト(理事) 本城 善男
 (クラブ奉仕兼任)
 ロータリー財団(理事) 藪内 猛之
 職業奉仕(理事) 伊藤 寿彦
 社会奉仕(理事) 眞杉 義和

国際奉仕(理事) 関谷 松男
 新 世 代(理事) 岸本 一郎
 副 幹 事 森居健太郎
 副 S . A . A 国友 隆房
 会 計 監 査 岡野徳一郎

それでこそロータリー
言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

献血とボランティア



1000人献血の会 代表 田中 猛士氏

1000人献血の会は「広げよう1000人献血の輸送リーダーの会」として平成元年に発足し以来22年間活動を続けてまいりました。

この運動は滋賀県特に湖北地域の献血率が低い事に危機感を感じ集まった有志がはじめたもので、一日に1000人の献血を集めさらにはその啓蒙啓発運動も行っております。

当時、滋賀県で一つのイベントで一日1000人の献血を集めるといふ実績は全く無く、完全に手探りの状態から1000人という数にこだわりながらそれを達成することが出来ました。数年間1000人という数にこだわったイベントを繰り返してきたのですが、献血事情に大きな変化がおり、一日1000人という数よりも成分献血への移行、200ml献血から400ml献血への移行が必要となりました。

運動としては1000人という数に執着したイベントの方がボランティアのモチベーションも上げ易かったのですが、段々と社会事情に合わせ運動の方向性を転換してまいりました。しかし発足当初から献血をテーマに運動しているものの特定のカテゴリーというよりボランティアの育成に力を注いできたおかげで今では様々なボランティア団体と手を携えながら様々な活動を行っております。

下は中学、高校生から70代の方まで幅広い年齢層のボランティアがおられるのが特徴でそれぞれが出来る事を自ら考え、行動する。そのバランスを取りながら運営を行っております。

多くの団体から補助をいただき、多くのボランティアの力で成り立ってきたこの運動ですが近年、県からの補助打ち切り、各種団体の中でも補助を頂けなくなり財政には大変苦しみながらの運動になってまいりました。お金がない中で活動資金を捻出する為に収益事業も取り込みながら活動しているのですが、この収益事業も大学生達と一緒に取り組みながらボランティアが楽しみながら活動出来るようになってまいりました。

経済状態の苦しい昨今ではありますがボランティアとしての精神は色あせることなく前向きに活動を行っております。将来を見据えると経済的な事、ボランティア数の減少などの課題を抱えております。何卒お力を賜りますようお願いいたします。

第2回和みの会

11月26日(金)、白州正子がこよなく愛した紅葉の名園「近江の名園 教林坊」見学と彦根「料亭安井」での昼食会「第2回和みの会」が14名の参加をいただき開催されました。

教林坊は、605年に聖徳太子によって創建されました。「教林」とは太子が林の中で教を説かれたことに由来し、境内には「太子の説法岩」と呼ばれる大きな岩が在り、別名「石の寺」と呼ばれています。

当日は、もみじの紅葉が最高に綺麗で2,000坪の境内を染めるもみじと数千本の竹とのコントラストが最高でした。

その後、「料亭 安井」で昼食を頂き、料理もおいしく大変満足しました。天候にも恵まれ、しばし心の和む有意義な一日でした。

(原馬)



◎他クラブ例会変更

ビジター有 守山 12/17、大津中央 12/17
東近江 12/24
ビジター無 五個荘・能登川 12/27
びわ湖八幡 12/30、守山 12/31
大津中央 12/31

◆出席報告

月日・回	内容	会員 総数	免除 会員	事前 出席	事後 出席	ホーム クラブ	出席率
11/15・2857		63	11	0	1	51	91.23%
11/22・2858		63	11	1	2	47	92.59%
11/29・2859		63	11	1		44	81.82%

例会プログラム予定

● 12月20日
次 回 「年末家族懇親会 (夜間移動例会)」
担当: 親睦活動委員会

● 12月27日
次々回 「私 と 写真」
講師: 鈴木 健 市君
担当: 鈴木 健 市君

・・・童心にかえろう・・・肩書をおとそう・・・年令を忘れよう・・・